

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	共和観光株式会社					
代表者名	氏名	江本 日東	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	〒390-0806 松本市女鳥羽2-1-2					
主たる事業の分類	大分類	N 生活関連サービス業、娯楽業				
	中分類	80 娯楽業				
主たる事業の概要	パチンコホール、リサイクル業、ホテル業、介護事業					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	2,918	2,802	2,507	2,496	2,464
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	5,338	5,127	4,595	4,567	4,518
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	20		19	18	24
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	119		144		136

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020 年度～	2022 年度
------	----------	---------

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

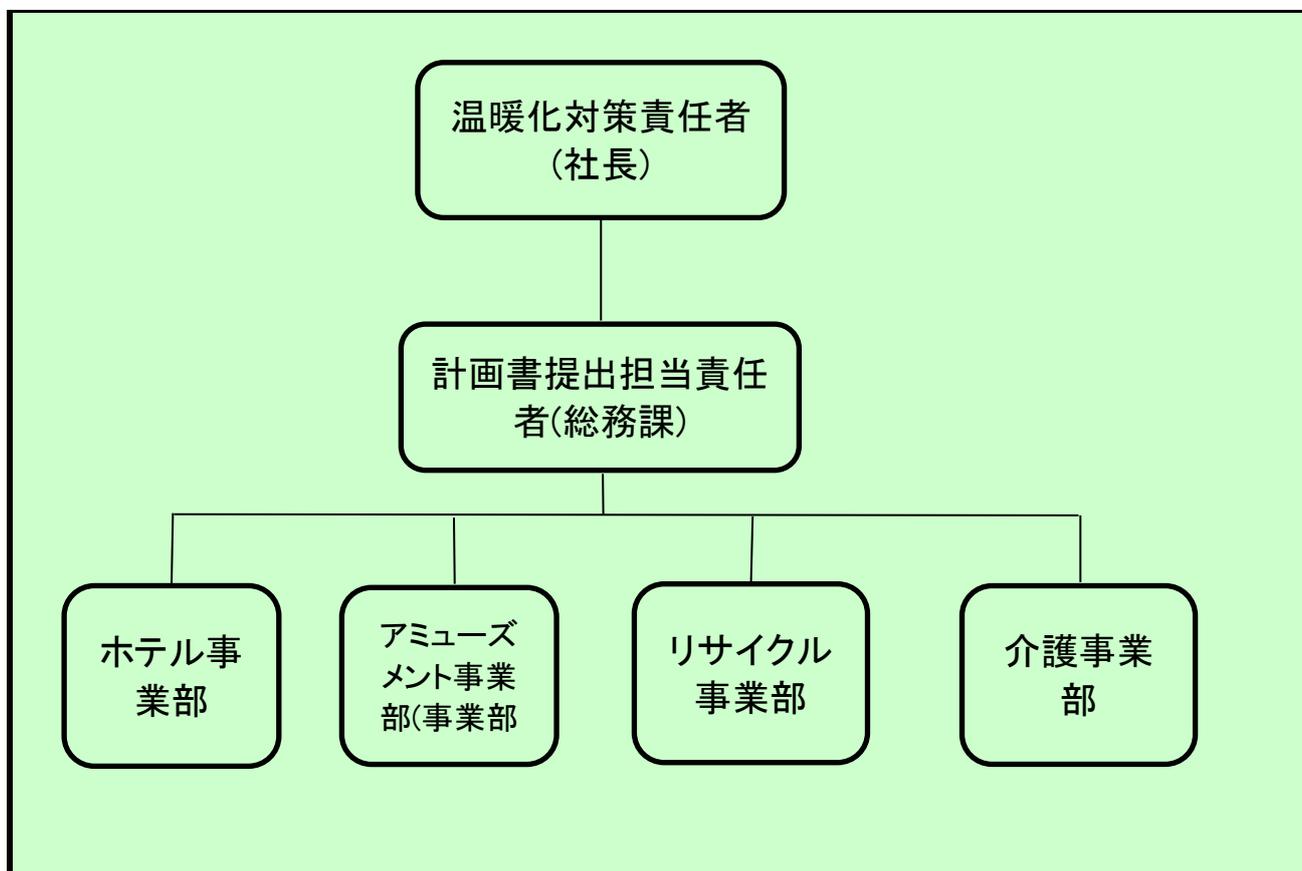
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	総務課 TEL：0263-39-8800 営業時間：平日9：00～17：30 事前にお電話いただければスムーズに準備ができます。
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

エネルギー使用量の大部分を電力が占めている。照明や機器の管理標準を改めて制定。これに環境保護意識向上の一環として各事業所で定期的に周辺地域のゴミ拾いを行う。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

計画書提出担当責任者が各事業所へヒアリング・指導(年2回)

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	5,338	t-CO ₂	床面積	288.06	単位	100m ²
2019年度	調整後排出量	5,338	t-CO ₂	基準原単位	18.53	t-CO ₂ /	100m ²
目標年度	目標排出量	5,127	t-CO ₂	目標原単位	17.97	t-CO ₂ /	100m ²
2022年度	目標削減率	3.95	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	パチンコ・スロット機器の高出力化がさらに進む他、空調機器の老朽化による効率悪化がみられます。第三次計画期間では、第二次計画期間で完遂できなかった空調管理をメインに進める予定です。						
第一年度	排出量	4,595	t-CO ₂	床面積	288.06	単位	100m ²
	削減率	13.91	%	原単位	15.95	t-CO ₂ /	100m ²
2020年度	調整後排出量	4,595	t-CO ₂	原単位削減率	13.92	%	
	削減率	13.91	%				
排出量等の増減理由	増加の要因としては、パチンコ・スロット機器の高出力化が進み、空調機器の老朽化による効率悪化が進む他、コロナウイルス感染対策のため換気量の増加による空調効率の悪化が見られた。削減の要因として、コロナ禍による休業及び営業時間の短縮により総エネルギー使用量が減少した他、5～6月に11店舗中3店舗の閉店によりさらにエネルギー使用量が減った。以上を合わせた結果、削減要因の方が大きかった為、排出量としては13.85%の削減率となった。						
第二年度	排出量	4,567	t-CO ₂	床面積	255.42	単位	100m ²
	削減率	14.44	%	原単位	17.88	t-CO ₂ /	100m ²
2021年度	調整後排出量	4,567	t-CO ₂	原単位削減率	3.50	%	
	削減率	14.44	%				
排出量等の増減理由	昨年と比べて考えられる増加要因はリサイクル事業部の工場ラインの増設、休業がなかったこと。減少要因は照明や空調の管理標準を再検討し策定したこと。以上を総合計した結果削減要因の方がわずかに上回り若干の削減となった。						
第三年度	排出量	4,518	t-CO ₂	床面積	260.91	単位	100m ²
	削減率	15.36	t-CO ₂	原単位	17.32	t-CO ₂ /	100m ²
2022年度	調整後排出量	4,518	t-CO ₂	原単位削減率	6.52	%	
	削減率	15.36	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	前年から介護事業部が増加し全体として増加が見込まれた。これまで喫煙やコロナ禍によりアミューズメント事業部の換気量は最大に設定され空調効率を悪化させていたが、コロナ禍の沈静化に伴いこれを適正値に引き下げたことにより大きな削減が達成できた。今回の計画期間としては、3店舗閉店したことを差し引いても約5%の削減が達成できた。第三年度報告書にて、指標の値を修正しました。						

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	119	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	144	t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率	-21.01	%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	136	t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率	-14.29	%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	130101	空調の効率を上げる為空気の流 れを作る	2020～ 2022		2020	0
2	エネ起	130101	管理標準の改定			2021	
3	エネ起	130101	換気量の適正化			2022	49
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	k w	605	0	605	605	605

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	16	5,338	16	4,595	13	4,567	14	4,518
合計	16	5,338	16	4,595	13	4,567	14	4,518

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	4	4	4	6
合計	4	4	4	6
自動車総数	20	19	18	24
次世代車導入割合	20	21.1	22.2	25

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	ホテル事業部は市街地に立地しているため公共交通機関の利用を推奨
自転車の利用促進	ホテル事業部は市街地に立地しているため自転車の利用を推奨
来客者の交通対策	
物流の合理化	本社事業所間の郵送を月2回にまとめて送る社内便

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input checked="" type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		2022
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		2010
	名称	エコアクション21	
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄

事業所周辺のゴミ拾いを毎週実施
